



発行：財団法人山形県林業公社

住所：〒990-0041 山形市緑町1丁目9番30号

電話：023-623-3505 FAX：023-623-3530

ホームページ：<http://business3.plala.or.jp/y-rkousy/>

メールアドレス：y-ringyou@atlas.plala.or.jp

山形県における林業公社の展望



山形県農林水産部森林課長 佐藤 洋一

財団法人山形県林業公社は、昭和42年の設立以来、国策であった拡大造林政策の担い手として、整備が遅れていた公有林・共有林など、当時、燃料革命により活用の途が薄れていた未利用里山林を生産力の高い人工林へ移行させるため拡大造林を進め、これまで造林された森林は約1万5千haと、県内民有人工林面積の約12%を占めるに至っております。

この間、本県の森林資源の充実、水源かん養や山地災害の防止など森林の持つ公益的な機能の持続的な発揮、加えて山村における雇用機会の創出等にご貢献する公的な担い手として、重要な役割を果たしてまいりました。

また、「やまがた公益の森構想」に呼応し、県内企業と連携した「企業の森づくり」など、県民参加の森づくりの一翼を担い、県民の森林への理解醸成の推進母体となっております。

一方、林業公社の経営は、近年の林業採算性の悪化による長期経営収支の落ち込み、また事業資金をすべて借入金により賄ってきたことによる多額の利払いなど厳しい状況にあり、経営基盤の安定が課題になっております。

こうした課題に対応すべく、公社役職員が一丸となって、森林施業体系の見直しによる効率化や事務経費の節減などの経営改善への努力、さらに、県からの貸付金の無利子化や利子の助成などの支援により、長期収支見通しは黒字に転換されておりますが、これからの木材価格や住宅着工戸数の動向によっては、今後、厳しい運営も予想されるところであります。

また、昨年12月に施行された「新公益法人制度」に基づき、一般財団、公益財団のいずれかの選択を求められており、今後の林業公社の果たすべき役割を見定めながら、こうした流れに的確に対応していく必要があります。

今後、公社の担う役割は、従前の地域材の安定的供給に加え、二酸化炭素の吸収をはじめとする森林の公益的機能の発揮や山村地域の雇用機会の創出、また、喫緊の課題である集約化による森林施業の普及に向け、地域の森林経営のモデル的な役割を果たしていくことや、森林資源の平準化などの新たな行政課題への検討についても対応する必要があると考えています。

現在、公社では、こうした状況を踏まえ、中期経営計画の策定作業を進めていられるとお聞きしておりますが、これらの計画の立案を通し、公社の位置づけ、果たすべき役割、進むべき方向について、改めて考え、公社のあるべき姿を描いて頂ければ幸いです。

県といたしましても、林業公社が将来にわたり健全な経営を維持し、地域の森林経営の模範となるよう、出来る限りの支援をしてまいりたいと考えておりますので、真に、県民のための林業公社としてあり続けるよう頑張ってくださいと思います。



☆ 平成21年度分収林事業の概要 ☆

今年度は **I.健全な森林資源の造成・整備を図り、持続可能な分収林経営を目指すこと、II.長伐期施業を展開して、森林の持つ多面的・公益的機能を図ること**、を基本方針として、従来の造林補助事業による保育施業のほかに、新たに創設された次の助成制度に積極的に取組み、前年度を大幅に上回る事業費を確保し、分収林の森林整備を行なっています。

また、これらの新規事業は「定額補助事業」（10分の10の補助率）であることから、事業実施に際し、借入金が必要となるため、公社の経営改善に資することになります。

■ 条件不利森林公的整備事業（新規）

この事業は、林道が整備されていない山間奥地等にあるために施業の条件が不利で、長期間整備が行なわれていない森林を対象に、公的主体による効率的な森林整備を行なうものです。

今年度はこのような条件不利森林を対象に、400haの間伐を実施します。

■ 路網整備地域連携モデル事業（新規）

この事業は、間伐等の森林施業の主たる担い手である森林組合等と、路網整備に必要な人的資源や装備を有する建設事業者との連携により、建設事業者の能力を活かして、林内の路網整備を推進するものです。

今年度は戸沢村、米沢市、酒田市の3箇所の分収林で、総延長3,300mの基幹作業道を開設します。

平成21年度分収林事業計画

(単位:千円)

区 分	平成21年度予算額 (a)	平成20年度予算額 (b)	増 減 (a-b)
造林補助事業	109,523	119,923	▲10,400
非補助事業	20,923	21,401	▲478
条件不利森林公的整備事業	77,532	0	77,532
路網整備地域連携モデル事業	45,200	0	45,200
森林整備地域活動支援交付金事業	65,000	55,560	9,440
合 計	318,178	196,884	121,294

◆編集後記◆

今号は山形県農林水産部森林課長佐藤洋一氏から「山形県における林業公社の展望」と題して寄稿していただきました。健全な森林を育成し、健全な経営を維持していくことが、当公社に与えられている重要な使命であること改めて再認識し、今後の分収林の健全な育成に努めていきますので、県をはじめ関係者の皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願いいたします。

